とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年6月13日
クラス名（年齢）	ひよこ（　０　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

環境

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・梅雨の雨を見たり音を聴いたり、紫陽花を間近に見るなどして、この季節ならではの自然を感じられるようにした

2、活動スケジュール

・テラスから雨や水たまりを眺める
・テラスに出て傘を差して抱っこをし、傘に落ちる雨音を聴く
・雨上がりに散歩に出かけ、紫陽花を間近に見たり、触れてみる

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・透明の傘　・散歩に出かける用意

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・雨の日、テラスに出てみて雨や地面の水たまりを眺めたり、ひんやりした空気を感じた。1人ずつ抱っこをして透明の傘を差し、雨音を聞く
・雨がやんで散歩に出かけ、近隣に咲いている紫陽花を見に行く

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・雨の日、保育室のテラスに出て、外気浴をしながら外の雨の様子を眺め、「雨こんこんだね」と保育士が語りかけたり、「あまだれぽったん」の歌を歌うとじっと聞いていた。 ・１人ずつ抱っこをしてテラスに出て傘を差し、傘にパタパタと雨音がするのを聞いた。静かに聞いたりキョロキョロ見まわす子もいた。 ・雨がやんでベビーカーに乗って散歩に出かけた。園庭の紫陽花はまだ咲いていないが近隣にはたくさん咲いていて、紫陽花を探しながら歩いた。白・水色・ピンク・青で花びらの縁が白いものなど、いろいろな紫陽花があり、見つけるたびに立ち止まって見たり、触ってみたりした。躊躇しないで触って感触を楽しむ子もいた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・雨が降ると園庭で遊ぶことはできないのだが、産まれて初めてのことを経験している日々の０歳児クラスの子どもたちなので、梅雨ならではのものをたくさん見たり、聞いたり、触ったり、感じられるように、これからもしていきたいと思った。近隣には季節の花々がたくさん咲くので、散歩に出かけ、その季節ならではのものを見たり感じられるようにしていきたい。